

地域清掃へのご協力ありがとうございました!!

当日は民生児童委員さんや、保護者、PTAの皆さん、地域の方々のおかげで、無事に地域清掃をすることができました。これからも「挨拶で繋がる町・八木町」の実現に向け、私たちにできることを継続して頑張りたいと思いますので、今後とも、ご理解・ご協力よろしくお願い致します。以下は生徒の感想(一部抜粋)です。ぜひご覧ください。
(令和5年度八木中学校生徒会)



- 僕は地域清掃をして、しっかり地域の人に挨拶もできたし、ゴミをすみすみまで探してきれいにして、たくさんゴミをとることができてよかったから、またこの活動をしたかったです。(1-1)
- 私は地域清掃をして、最後まで(後始末)責任を持って物事をしないとないと思いました。私が清掃した所は、花火が打ち上げられた所でした。そこで拾ったゴミの多くに、花火を打ち上げた時にできた紙くずだと思われるものがありました。いつも楽しく使ったりしているものでも、その後でされている片付けであったり準備だったりすることが大事なんだと考えました。(1-1)
- 先輩が声をかけてくださり、ごみがあることに気づいたときに拾うことができ、地域をきれいにできたと思います。またこのような活動をし、もっときれいにしたいと思ったし、きれいにしたら、みんなが喜ぶと思います。(1-1)
- 清掃をする前は「簡単やろ」と思っていたことが多かったんですが、八木西周辺、八光館の周辺を掃除しているうちに、缶が多かったり、たばこも多く、意外ときれいとおもっていても、現実はそのようではないことが分かったので、ゴミ拾いは大切だと思った。(1-1)
- 一番びっくりしたのは、山の所に300個くらい、お酒やジュースの缶がありました。ほとんどが大人が捨てているんだと思い、そんな大人にはなりたくないと思いました。(1-1)
- 地域清掃で、きれいになったのもよかったけれど、目的にもある、「地域の方とつながりを深める、感謝の気持ちを行動で表す」など、地域の方とコミュニケーションがとれたことが一番嬉しかったです。(1-2)



- 特にたばこのゴミが多かったので、たばこは吸ったら灰皿にしっかり火を消して捨てましょう。火がついていたら火事の危険があると思いました。飲み物のペットボトル、缶もたくさんありました。ゴミ捨てに入れてほしいです。ゴミを捨てないで、と書いてあるのになぜ捨てるのか不思議だと思いました。(1-2)
- この地域清掃をして、ゴミ拾いは大切だと思った。ちょっとだけでもゴミを一人拾うだけでもっときれいになれるし、もっと拾うとっときれいになるから、みんなが拾っていったら、もっときれいになるのかなと思った。(1-2)
- 僕たちは一時間という短い時間でしたが、これだけのごみが出てきたということは、一人一人が気にかけるだけでよりよい町作りができると思います。この経験を活かして、後輩達によりよい八木町をつくってほしいです。(3-2)
- グループのみんなが地域の人に挨拶をしているのがとてもいいと思いました。自分も久しぶりに、自分から地域の人に挨拶をしました。自分のグループについてくださった地域の方とも話することができて良かったです。(3-2)
- 一年生が積極的に活動してくれたので、頼もしかったです。(3-2)
- これからも「あいさつで繋がる町・八木町」を実現するために、自分から挨拶をすることを、中学を卒業してからも続けようと思いました。(3-2)
- リーダーを任されるのは初めてだったので、わくわくしていたのですが、結構緊張もしていました。最初は、いつもはしゃぎがちな人達がちゃんと真面目に清掃してくれるかが少し心配でしたが、びっくりすることに、みんなよりも頑張っていたのではないかと、思うくらい積極的に楽しみながら取り組んでいて嬉しかったです。(3-2)
- 今取り組んでいる「ハピグリ」も忘れずに自ら挨拶できたと、挨拶したら笑顔で挨拶を返してくれたから、すごくいい気分になりました!(3-1)
- 地域の方々には、最後に感謝の気持ちが伝えられたので良かったです。私は、始まる前正直「めんどくさいな…」とか「花火大会がない日はごみはないだろう…」と思っていました。でもよくよく見たら、ごみはたくさんあるし、拾わないと地域が汚くなると思うと、拾ってよかったなと思いました。たばこばかりで、缶とか紙コップとか見つけると嬉しい気持ちになりました。普段は全然思わないのに、拾っていると段々と楽しくなれました。(3-1)



- 積極的に参加できたし、八木町をきれいにもできて、この活動を考えた生徒会本部のみなさんは本当にすごいなと思いました。ごみを拾うときに、一年生の子たちが、河川敷の方に入ってごみをとっていて、やる気がすごいなと思ったのと同時に、私も頑張ろうと思いました。(3-1)

- 挨拶は、すれ違った人が少なかったからなのか、あまり聞こえませんでした。自分がリーダーとして、もっと声かけをするべきだったなと反省しています。また先生が言うには、集中できていないように見える子がいたようなので、残念です。次にこのような活動がある場合には、ふざけず真面目に取り組んでいってほしいなと思います。(3-1)

- そもそもはごみを散らかしたり、外に捨てたりしないことが大切です。ゴミだらけの町は嫌です。外にごみを捨てた人達はどういう気持ちで捨てているのか、知りたいです。八木町は平和な町。みんなで協力して、美しい町を作りましょう！(3-1)

- 「自分のごみではないから」をほっておくのではなく、「誰かのために」と思って拾うことがいいのかなと思った。(2-1)

- やっぱり自分達だけで清掃することにも意味はあることだけど、「地域の方達と」という部分が一番大切なんじゃないかなと思いました。(2-1)

- 前日の全校集会での顔合わせでは、話せる人も少なく、うまくやっていけるか心配でしたが、三年生がはなしかけてくださったり、一年生とも交流ができて、楽しい地域清掃になりました。挨拶を広げるためには、今回みたいに地域に出て活動することも必要だと思うし、身近なところからコツコツ積み上げていくことが大切だと考えました。自分は挨拶をして返されなかったりするのが怖かったり、ひきずったりするタイプなので、全然できなかったけど、挨拶を返してもらったときの嬉しさがあるって、今ではしっかり挨拶ができるようになったので、そう思っている人がまだいると思うので、挨拶をしていったりとか、できることがあったらいいなと思います。(2-1)

- 1・2・3年生で、「ここにもゴミがある」などみんなで声をかけあいながら、ゴミを拾ったり、車が通る道では、「車が来るよ」など、安全面を考慮して地域清掃をすることができました。(2-1)

- 八木町をきれいにするということは絶対に一人ではできないことだから、一緒にやった仲間や先生方の存在はとても大きかったし、改めて仲間の大切さというのを、この地域清掃で感じさせられました。(2-2)



- 昨年の「あいさつステッカー」に続き、今回の活動に参加して、八木町民であるという自覚を持ちながら、地域のために行動を起こす、変化させる。これは地域貢献だけでなく、生徒会スローガン「八木ノミクス」の3本の矢にも関わりのあるなと思いました。「think」では生徒会本部が中心となって「考え」、「Act」では全校生徒が八木町のために「行動」し、「change」ではその後、八木町も八木中生も「変化する」、こういった関係が作れている気がします。先輩方が作ってきてくださったこのつながりを忘れずに、来年も何かしたいと思う良いきっかけになりました。(2-1)



- 1班が拾ったゴミのおよそ六割はたばこの吸い殻だったので、どこの地域もそうなのかなと感じました。他にも缶ビールやプラスチックゴミが草むらに隠されているようにこっそり捨てられていたので、見のがさないように注意しながら取り組みました。そこで思ったのが、「意外ときれいだな」ということです。車道にはほとんどゴミが落ちていなかったの、日頃からこころへんは地域の人達がこまめに拾ってくださっているんだなと感心しました。(2-1)

- 今回地域清掃に参加して、自分たちの町に、あんなにもゴミが落ちていたことにびっくりしました。河川敷の方がペットボトルやジュースの飲み捨てが特にひどかったです。川に近づくたびにゴミの数が多くなっていきました。ゴミ袋に入りきれないほどごみがあったことに、ショックでしたが、この地域清掃でゴミを0にすることはできなかったけど、各チームに分かれてゴミをたくさんひろうことができて、初めの時よりすっきりしました。協力してくださった方々も、たくさんのごみを拾ってくださって、本当に感謝しています。(2-2)



- 地域清掃を通して地域の方ともつながりを深められたし、自分たちがしている姿を見て声をかけてくださる方もいました。活動しているときに民生児童委員さんと話をしていて、町がきれいになって喜んでいただき、地域のかたも声をかけてくださり、八木町のたくさんの方々がこの取組に興味を持ってくださっていたと思って、嬉しかったです。今回の取組は準備段階からして大変だったし、うまくいくか不安だったけど、たくさんの方が協力してくれたのでよかったです。(2-2)



- 地域の人、出会った人にあいさつもできたのでよかったです。「ゴミ拾いか、えらいねえ。ありがとう」と言ってもらえてうれしかったです。八木中学校として、こういう機会がまたあれば、ゴミ拾いをして八木町をきれいにしたいと思いました。(2-2)